



どんぐり



パークセンターだより 第96号 2009年4月・5月号

めぶ かんさつ 木々の芽吹きを観察

自然解説員
かとう ゆういち
加藤 裕一

雑木林に、芽吹きの季節がやってきました。木々たちが一斉に芽吹き始める様子はとても印象的で、ソメイヨシノの開花と同じく、春になったことを強く実感させてくれます。今回は、毎年繰り返される、木々のダイナミックな芽吹きについて、中でも特に印象深い落葉樹の芽吹きについて、あらためて注目してみたいと思います。

まずは、少し離れた場所から林を眺めてみましょう。例年、4月に入る頃、雑木林の様子にはっきりと変化が感じられるようになります。初めのうちは、うっすらと霞がかかったように白っぽく見え、数日後には、極めて淡い緑色や黄緑色、赤茶色など、パステル調の色合いがあちらこちらにパッチワーク状に現れます。それが日に日に少しずつ、そして確実に、柔らかな緑色へと変化していきます。その変化のスピードはとても速く、特に4月は、月の初めと終わりまで、雑木林の様子はがらりと変わります。例えば、場所を決めて、一週間ごとに同じ林の写真を撮って比べてみると、その変化の速さを実感できるでしょう。また、芽吹きの際の微妙な色合いは、それぞれの木の種類に固有なものです。少し目を凝らして、パッチワーク状に点在する同じ色調の木を探することで、「あの木とあの木は同じ種類かな」などと、遠くからでも想像することができます。

今度は、林に近付いて、一本一本の木ごとに観察してみましょう。



ケヤキの芽吹き

一本の木の中では、芽吹きすすのタイミングや進む速さはやはそろっているものなのでしょうか？それとも、例えば上たの方の枝の芽吹きが早い、とか、芽吹きが速く進む方角ほうかくがある、といった傾向けいこうがあるものなのでしょうか？また、木の種類によって、早く芽吹き始めるもの、遅く芽吹くもの、などの傾向はありそうでしょうか？それとも、種類よりも、日の当たり具合ぐあいなどその場所の条件の違いの方が、強く関係していそうでしょうか？元気よく活動かつどうを始めた木々を眺めながら、あれこれ考えてみるのも面白いおもしろでしょう。

さらに近付いて、一枚一枚の若い葉に注目してみます。芽吹いて間もない小さな葉を観察してみると、木の種類によって、それぞれ微妙こに異なる色合いをしていることにあらためて驚おどろかされます。もちろん、淡い緑色にみえるものが多いのですが、緑といっても実に様々で、黄あみを帯びた緑、青みを帯びた緑、くすんだ緑、透明感とうめいかんのある緑、など、本当に多様です。緑以外にも、黄色やオレンジ色、赤むらさき、紫などの色を帯びた葉がきっと見つかることでしょう。また、芽吹き直後の葉には、びっくりするほど毛がたくさん生えているものが多いのも特徴とくちょうのひとつです。木の種類によって、葉の両面りょうめんにびっしりと生えるものもあれば、裏面うらめんのみに生えるもの、葉脈ようみゃく上に特に多いものもあります。この毛は、大部分は一時たいふぶん的なもので、その後葉が大きく成長せいちょうするにつれてほとんど落ちてしまいます。もうひとつ、若くて小さな葉の観察で面白いのが、葉の折りたたまれ方です。様々な種類さまざまの木で、冬芽から顔かおを出して間もない葉を探さがしてみてください。主脈しゅみゃくで二つ折りになっているもの、側脈そくみゃくにそって細かくたたまれているもの、扇あうぎをたたんだような形のもの、など、色々なタイプの折りたたまれ方が見つかってくると思います。そして、折りたたまれていた葉が平たいらに広がっていく様子や、徐々に緑色へと変化する様子など、見所みどころ豊富で、見ていて飽きません。



自然観察舎・湿地の観察会

実施時間・実施日

実施時間	実施日
10:00～10:30	土曜日
11:00～11:30	日曜日
13:30～14:00	祝日
14:30～15:00	祝日

【定員】 先着25名（当日受付）

【受付】 自然観察舎 窓口

（開始時間までにお申込下さい）

【電話】 047-340-4140

行事に使われる植物たち(3)

2月～4月

自然解説員
かわばたしゅうこ
川端祥子

2月は節分の豆まきから始まります。豆まきは立春の前日の夜に行われます。旧暦で季節の分かれ目を節分といいますが、今では立春の前日を指しているようです。この日から寒があげ徐々に暖かくなり、大切な太陽が元気を取り戻してくる大切な日だからです。この頃の気候に「三寒四温」という言葉がありますが、徐々に暖くなる様子を表す言葉です。節分には立春のほかに立夏、立秋、立冬がありますが、年輩のかたは耳にしたことがあると思います。豆まきは悪鬼が入り込むのを防ぐ行事のひとつです。門口にヒイラギの小枝とイワシの頭を飾るのも昔から行われています。ヒイラギの葉の鋭い鋸歯やイワシの生臭い臭いを鬼が嫌うためといわれています。地域によってはトベラの枝や豆殻を使うこともあるようですが、これはダイズやヒイラギも含めて火にくべるといづれも大きな音をたててはじけるため、鬼が近寄らないとされています。豆まきに使われる豆はダイズ(地域によっては殻付き落花生)が多いようですが、必ず火を通したものを使います。生のものを播いて芽がでると不吉なことが起きるといわれているからです。

針供養という行事が2月8日に行われています。これは裁縫に使われた針に感謝し、裁縫の技術が上達することを願う行事です。この日女の人たちは仕事を休み、折れたり、曲がったりして使えなくなった針を豆腐やコンニャクにさして近くの神社に納めたり、川に流したりして祈り、静かに一日を過ごすのです。女性にとって家事ができるのは当たり前で、裁縫が上手にできるというのはとても大切なことだったのです。そのため小さいときから家事を手伝いながら仕込まれたということです。はじめは人形に着せるものや遊び道具のお手玉だったのではないのでしょうか。今でも数は少ないですがあちこちで行われています。なお針をさすのに使われる豆腐は豆から作った豆乳にニガリ(海水に含まれる塩化マグネシウム)をまぜて固めたもの、コンニャクはサトイモ科の植物で球根を加工して石灰を加えて固めたものです

3月3日は雛祭りです。江戸時代に幕府が公の行事と決めた五節句のひとつです。五節句は季節に応じた植物を食して邪気を払う行事です。1月7日の七

草の節句は七草粥^{がゆ}。3月3日の桃^{もも}の節句は白酒^{しろざけ}やモモの花を浮かべた桃花酒^{ももばなしゆ}。5月5日、7月7日、9月9日と続きますが、雛祭りに戻りましょう。この祭りは日本に古くからある人形(ひとがた)^{からだ}で身体をなでて穢れ^{けが}を移し、川に流す「流し雛」の行事がもとになっていて、今も各地で行われています。きれいな人形を



モモ

飾るようになったのは、江戸時代から上流階級^{じょうりゅうかいきゅう}を中心に広まったといわれています。このとき振る舞われるのが三色の菱餅^{ひしもち}と桃花酒や白酒です。赤は血の色 = 健康^{けんこう}を、また邪気^{じゃき}を払うという桃のピンク^{あらわ}を表し、解毒作用^{げどくさよう}があるというクチナシ^そで染めていました。白は正式には解熱作用^{げねつ}があるというヒシの実の粉^{こな}で、緑は厄^{みどり}を払う力^{やく}と造血作用^{はら}があるというヨモギ^{ぞうけつ}をまぜて作ったそうです。現在は草餅^{くさもち}や桜餅^{さくらもち}に変わってきているようです。雛祭りは女の子の健やかな成長^{すこ}と長寿^{ちようじゆ}を祈る祭りなので、中国から伝えられたモモの花^{やく}や葉を入れたモモ酒(薬酒といわれている)よりも

糀^{こうじ}から作られた甘いお酒が白酒として振る舞われたようです。モモは実^{せんか}を仙果といわれるほど花も葉も全体に薬用成分が含まれているといわれている植物です。

春分の日^{ひがん}の前後3日計7日を春のお彼岸といひます。「彼岸」というのは亡くなった方達^{かたたち}が住む所^{すところ}といわれています。そしてこの時期^{じき}にこの世^よに帰ってくるといわれています。このときお供え物^{そな}としてぼた餅^{もち}が使われます。アズキの赤が邪気^{じゃき}を払うといわれているからです。ぼた餅のぼたは、アズキのあんをこの時期に咲くポタンの花に見立てて付けられたようです。

3月下旬~4月にかけてキリスト教徒^{きりすと}にはクリスマスと同じくらい大切な行事があります。それははりつけにされたキリストの復活^{ふっかつ}を祝う復活祭(イースター)です。ここで使われる植物はイバラとアマです。イバラはキリストが神の子^{さい}といわれていたので、キリストの処刑^{しよけい}を求めた者^{もと}たちが、神の子なら人の上に立つ王^{おうかん}と同じだから王冠^{ひつよう}が必要^{ひつよう}だろうと、イバラを編んで頭にさせたもの。アマ^あの繊維^{せんい}で織^おった布^{ぬの}はリンネル^{りんねる}といって当時では高級^{こうきゆう}な布で



アマ

すが、弟子達がこの布で遺体を包んで葬ったといわれています。

4月8日はお釈迦様の誕生を祝う花祭りです。お釈迦様が宮殿内の花園で生まれたことにちなんで、花で飾った小さなお堂に立像を安置したといわれています。花祭りのときはこの立像に甘茶を注ぎますが、これは生まれたときに竜が現れ、甘露の雨で産湯をつかわせ、その誕生を祝したという故事にちなんでいます。ここで使われる甘茶はアジサイの仲間のアマチャの葉を発酵させてから乾燥したものを煎じてつくられます。甘露の雨は良いことが起きるときに降るといわれるもので、人々の苦を除き、死者も蘇らせるくらいの霊水と信じられていたのです。

出かけるには良い季節です。子供達にも古くから伝わる行事を体験させたいですね。



みどりの相談室



パークセンター「みどりの相談室」では、相談員の先生が園芸に関するさまざまな質問に無料でお答えします。電話でもお受けしていますのでお気軽にご相談下さい。

【相談日】 水・土・日曜日と祝日

【時間】 午前10時～12時・午後1時～3時30分

【電話】 047-345-8738

ご来園の皆様へお願い

安全、快適に公園を利用していただくため、本公園ではいくつかのルールがあります。**自転車**（キックボード含む）の乗り入れ、**ペット**の持ち込み、**テント**設営、**魚釣り**（たこ糸を使ったザリガニ釣りはOK、テグスは不可）などは禁止となっています。また**動植物の採集**や鳥などへ**エサをやる**こともかたくお断りしています。きれいな花もみんなで採ったらなくなってしまいますし、可愛いからと、人間の食べ物を鳥などにあげると自分でエサを捕れず、自然界で生きていけなくなり、かえってかわいそうなことになってしまいます。ルールを守って楽しく過ごして下さいね。

クンシラン（君子蘭）

みどりの相談員
小林 喜代 次

特性

クンシランは南アフリカ原産でヒガンバナ科の多年性植物で、気品のある花の美しさは魅力的です。根は太く長く密生し乾燥期には根に蓄えた水分で長く自活できます。乾燥には強い植物ですが、逆に過湿には弱く根腐れを起こしやすい。真夏の直射は葉やけを防ぐように、また霜や低温に弱いので冬は保温に努めます。

植え替え

（2～3年に1回、根が鉢土からでてきたら）

根がいっぱいになると、根詰まりで生育障害を起こしたり、水やりしても鉢の中に入らず水不足になりがちです。そこで2～3年に1回、ひと周り大きい鉢に植え替えます。

- ・適期 花が終わったら（4月中旬～5月中旬）
- ・作業のしかた 1週間くらい水やりを止めて根を柔らかくして植え替えます。
- ・用土 通気性の良いもの 例；赤玉土小粒（鉢底には大粒）

株分け

株分けはクンシランを増やす手軽な方法です。十分に大きくなった子株は植え替えの時にいきます。

5月～10月の手入れ

- ・株を充実させ葉の枚数を増やすことがポイントです。（1年間に7～8枚）
日光（7月～8月は遮光）+水+肥料=葉数増加
- ・霜の心配がなくなる5月中旬になったら、戸外の明るい日陰に出します。
- ・7月～8月の直射日光は避けます（葉やけをします）。
- ・水やり 土の表面が白っぽく乾いたら、たっぷり与えます（水のやり過ぎは根腐れになります）。
- ・肥料 5，6，7および9月に固形肥料（油粕と骨粉）を施します。5号鉢で3～4個 7号鉢で4～5個。





パークセンター4月・5月の催し物

講座	日時	定員	講師	費用	受付
展示 08年の千駄堀（21世紀の森と広場の自然）	平成21年4月1日(水) ～4月5日(日)	-	川端祥子氏	無料	-
園芸教室 芝生の作り方と管理 (実習有)	平成21年4月10日(金) 13:30～15:00	20名	みどりの相談員 野口宣二氏	無料	3/15 ～
自然観察会 「森の芽吹きと花の観察会」	平成21年4月12日(日) 10:00～12:00	20名	森林インストラクター 國安哲郎氏	無料	3/15 ～
野草ウォッチング (雨天の場合は屋内での講座)	平成21年4月18日(土) 10:00～11:30	25名	自然解説員 川端祥子氏	無料	4/1～
昆虫ウォッチング (雨天の場合は屋内での講座)	平成21年4月26日(日) 10:00～11:30	25名	自然解説員 馬場友希氏	無料	4/1～
展示 「春の盆栽展」	平成21年4月28日(火) ～4月30日(木)	-	社)日本盆栽協会 会松戸支部	無料	-
押し花作品展 ～花たちの語らい～	平成21年5月8日(金) ～5月13日(水)	-	押し花サークル 桜	無料	-
園芸教室 「ミニ花壇を楽しむ」	平成21年5月16日(土) 13:30～15:00	45名	みどりの相談員 青島尚祐氏	無料	5/1～
昆虫ウォッチング (雨天の場合は屋内での講座)	平成21年5月17日(日) 10:00～11:30	25名	自然解説員 吉岡明良氏	無料	5/1～
みどりの教室 「絵手紙で季節の花を描こう」	平成21年5月21日(木) 10:00～12:00	30名	絵手紙わの会 萩原典子氏	200円	5/1～
バードウォッチング (雨天の場合は自然観察舎)	平成21年5月24日(日) 10:00～11:30	25名	自然解説員 直井宏氏	無料	5/1～
みどりの講習会 「初夏のハンギングバスケット～ 三日月型のワーヤーバスケットを使 って～」	平成21年5月30日(土) 13:30～15:00	20名	ハンギングバスケットマ スター 杉田佳子氏	2,000 円	5/1～
野草ウォッチング (雨天の場合は屋内での講座)	平成21年5月31日(日) 10:00～11:30	25名	自然解説員 加藤裕一氏	無料	5/15 ～

申込が必要な講習会につきましては、電話または直接パークセンターまでお申込下さい。
予定に変更が生じる場合がございますので、詳細はパークセンターまでお問い合わせ下さい。

お知らせ



4月から、ウォッチングを含む全てのパークセンター主催の講座は、電話により申込みを受け付けます。

申込みは毎月1日と15日に発行する「広報まつど」に掲載された日の、午前9時からです。

当日申込みは定員を超え次第お断りしますので、ご注意ください。

ゴールデンウィーク中のイベントのご案内

ゴールデンウィークには、2つの大きなイベントが開催されるよ。

みんなで公園に遊びに行こう！！

・緑と花のフェスティバル2009

日時 4月29日(祝) 9:30~15:00(雨天決行)

場所 つどいの広場

・第36回こども祭り

日時 5月3日(祝)10:00~15:00
(雨天の場合は翌日に順延)

場所 つどいの広場



発行日：2009年4月1日
発行：21世紀の森と広場パークセンター
開館：9:00~16:30
月曜休館（祝日開館/翌日休館）
〒270-2252 松戸市千駄堀269
TEL 047-345-8900
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用下さい。



21世紀の森と広場シンボルキャラクター
ドンちゃん・グリちゃん